

関西四大学「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書

2019年10月

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日、関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年で11年目を迎えます。

警察庁組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課発表の「平成30年における組織犯罪の情勢（第2章：薬物・銃器情勢）」によると、薬物事犯検挙人員は近年横ばいが続く中、2017年から2018年にかけて、わずかではありますが増加しています。また、2009年から年々減少を続けていた大麻事犯の検挙人員が、2014年から増加に転じ、大学生を含む若年層の増加が顕著となっています。（2009年の大学生大麻事犯検挙人員は81名であり、そこから毎年減少し、2013年には23名となりましたが、2014年から増加に転じ2017年には55名、2018年は100名と大幅な増加となりました）。

また、昨今では乱用した者が重篤な症状を起こして救急搬送されたり、重大な交通事故を引き起こしたりするなど社会問題化し、「危険ドラッグ」と総称された薬物について、政府は2014年4月に薬事法を改正（「医薬品医療機器法」）し、対策を強化しています。その結果、危険ドラッグの使用が原因と疑われる死亡事案が大幅に減少するなど、その対策に一定の効果が上がっている一方、インターネットを利用して密売されるなど流通ルートが潜在化しており、今後の動向を引き続き注視する必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

なお、質問項目については、大麻が中心であったものから、2015年に「危険ドラッグ」を含む、危険な薬物全般について調査する内容に変更しました。今回も同様に、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果も反映させるべく、関西四大学の入学直後の新生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新生が大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接しているほか、引き続き、ごく少数であっても薬物に接触する危険性があることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月の報告書から続くこの調査結果から目をそらすことなく、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2019年10月

関西大学学長	芝井 敬司
関西学院大学学長	村田 治
同志社大学学長	松岡 敬
立命館大学学長	仲谷 善雄

*2015年度の本調査より、昨今流通する違法薬物が多様化している実情に鑑み「大麻」や「危険ドラッグ」といった個別の薬物について聞くのではなく、質問2で示した薬物を「これらの薬物」と総称した上で意識調査を実施している。(質問3～20)

I 調査対象

対象者数 : 2019年度入学生 25,842名(関西四大学合計人数)
 実施期間 : 各大学により定められた期間(2019年4月)
 調査方法 : 紙媒体
 回答数(率) : 22,968名(88.9%)

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

主な回答の集計結果について

◇質問1 薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○)

<回答>

非常に関心がある	2.7%	前年度比+0.7ポイント
ある程度関心がある	31.6%	前年度比+2.6ポイント
どちらともいえない	26.5%	前年度比-0.5ポイント
あまり関心がない	14.9%	前年度比-1.1ポイント
ほとんど関心がない	24.4%	前年度比-1.6ポイント

2015年度から本年度までの5年間を振り返ってみたところ、いずれの回答も大きな割合の変動がなく、ほぼ横ばいで推移している。また、どの年においても、「あまり関心がない」「ほとんど関心がない」の合計が、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」の合計を上回っており、薬物問題への関心はあまり高くないことがうかがえる。

◇質問2 次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可)

<回答>

有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	76.6%	前年度比+0.7ポイント
覚せい剤(スピード、エスなど)	92.1%	前年度比+2.0ポイント
大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	93.6%	前年度比+1.7ポイント
コカイン	92.3%	前年度比+6.8ポイント
あへん類(ヘロインなど)	62.1%	前年度比-0.6ポイント
LSD	16.6%	前年度比+0.9ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	58.3%	前年度比-0.1ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	70.4%	前年度比-1.5ポイント
知っているものはない	2.3%	前年度比-0.3ポイント

◇質問1-1 これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか(1つに○)

<回答・抜粋>

どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない。	90.4%	前年度比-0.6ポイント
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である。	8.2%	前年度比+1.2ポイント

依然として、他人に迷惑をかけなければ、使用は個人の自由であると考えている学生が一定数存在している。

◇質問 13 これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つに○)

<回答>

誘われたり、勧められたことはない	94.5%	前年度比+0.5ポイント
購入を勧められたことがある	0.5%	前年度比-0.5ポイント
使用を誘われたことがある	1.2%	前年度比+0.2ポイント
わからない	3.8%	前年度比-0.2ポイント

◇質問 15 (ア) 周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つに○)

<回答>

いない	86.5%	前年度比-0.5ポイント
いる(いた)	3.8%	前年度比-0.2ポイント
わからない	9.7%	前年度比-0.3ポイント

◇質問 15 (イ) 【質問 15 (ア) で「2 いる(いた)」に○をつけた人だけお答えください】
どの薬物でしたか。(複数回答可)

<回答>

有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	10.6%	前年度比-1.2ポイント
覚せい剤(スピード、エスなど)	8.9%	前年度比+0.9ポイント
大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	50.7%	前年度比+9.4ポイント
コカイン	4.9%	前年度比-0.5ポイント
あへん類(ヘロインなど)	1.4%	前年度比-1.0ポイント
LSD	3.0%	前年度比+0.9ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	3.6%	前年度比+1.1ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	6.3%	前年度比-3.0ポイント
わからない	28.7%	前年度比-6.1ポイント

大麻の比率が高く、17年度から増加傾向にある。

◇質問 17 これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数回答可)

<回答>

警察の相談窓口	26.2%	前年度比+2.1ポイント
行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	11.6%	前年度比+1.4ポイント
医療機関の相談窓口	16.8%	前年度比+2.1ポイント
民間の支援団体の相談窓口	9.4%	前年度比+1.6ポイント
知らない	58.5%	前年度比-1.7ポイント

薬物に関する相談窓口について、6割近くの学生が知らないと回答している。認知度に若干の改善傾向がみられるが、大学としてもこれらに関する情報発信を引き続き行っていく必要があると考える。

◇質問 18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数回答可)

<回答>

薬物乱用による健康被害情報	48.6%	前年度比+1.0ポイント
薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	38.0%	前年度比+2.8ポイント
国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	13.5%	前年度比+1.1ポイント
医療機関や民間支援団体の取り組み情報	11.9%	前年度比+1.8ポイント
特になし	23.5%	前年度比-0.8ポイント

◇質問19 (ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つに○)

<回答>

不可能だ	22.2%	前年度比+1.2ポイント
かなり難しい	22.2%	前年度比-0.8ポイント
難しいが手に入る	37.8%	前年度比-0.2ポイント
手に入る	17.7%	前年度比-0.3ポイント

◇質問19 (イ) 【質問19 (ア) で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください】入手可能と考えた理由は何ですか。(複数回答可)

<回答>

インターネットなどで探せば見つけることができると 思うから	84.9%	前年度比-0.2ポイント
インターネットなどで販売されているのを見かけた ことがあるから	4.7%	前年度比+0.9ポイント
それ以外	12.2%	前年度比±0

薬物の入手可否について「難しいが手に入る」が最も割合を占めており、その大半が、「インターネットで探せば見つけることができると思うから」と回答している。また、わずかではあるが「インターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから」という回答が増加している。

◇質問20 薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つに○)

<回答>

知っている	68.3%	前年度比-1.7ポイント
知らなかった	31.7%	前年度比+1.7ポイント

「知っている」と答えた学生が7割を下回っており、危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要がうかがえる。

上記から、薬物乱用問題に関心をもっている学生は一定数いるものの、注意・関心を持っていない学生が依然として多数であることがわかる。そのような現状の中で、使用については個人の自由であると捉えている学生や、周囲に薬物を所持したり、使用したりしている学生を知っている学生が少数ではあるが存在している。

また、危険ドラッグと称される薬物や薬品の所持・利用により罰せられることを知らない学生や、様々な相談機関の存在を知らない学生が多数存在し、薬物乱用防止の観点から必要な知識や意識が新入生には不足していると思われる。質問18の結果は、このような学生を対象とした訴求力がある啓発活動を大学で策定する上での良い参考情報となっている。

質問19の結果から、インターネットが社会に深く根付いた現在において、薬物の入手は困難であるものの探せば手に入るという感覚を持っている学生が多いことがわかる。大麻に関する摘発者数をみると全国規模で増加傾向にあるが、中でも2018年度には100名の大学生が検挙されている(前年度比で約1.8倍増)ということは見逃せない変化である(警察庁組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課発表「平成30年における組織犯罪の情勢『第2章：薬物・銃器情勢』」参照)。

本結果から、薬物乱用問題に関し、社会的な動向を注視し、学生はどのような情報に接しているのかについて、その情報源や内容を分析し、さらに現在の学生に不足している知識を把握することで、各大学における効果的な啓発方法を検討していく必要があると考える。

共通質問1 薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	非常に関心がある	614	2.7%	2.7%
2	ある程度関心がある	7233	31.5%	31.6%
3	どちらともいえない	6059	26.4%	26.5%
4	あまり関心がない	3406	14.8%	14.9%
5	ほとんど関心がない	5582	24.3%	24.4%
	不明	74	0.3%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22894

共通質問2 次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	17584	76.6%	-
2	覚せい剤(スピード、エスなど)	21149	92.1%	-
3	大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	21492	93.6%	-
4	コカイン	21206	92.3%	-
5	あへん類(ヘロインなど)	14256	62.1%	-
6	LSD	3804	16.6%	-
7	MDMA(エクスタシーなど)	13398	58.3%	-
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	16179	70.4%	-
9	知っているものはない	538	2.3%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

【次の質問以降は、質問2であげた薬物についてお聞きします。】

共通質問3 これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	かっこいい	111	0.5%	-
2	気持ち良くなれる気がする	1743	7.6%	-
3	ダイエットに効果がある	90	0.4%	-
4	眠気覚ましに効果がある	360	1.6%	-
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	129	0.6%	-
6	心や体に害がある	14910	64.9%	-
7	犯罪に巻き込まれる	14027	61.1%	-
8	使ったり、持っていたりするの悪いことだ	15275	66.5%	-
9	1回でも使うと止められなくなる	16033	69.8%	-
10	特にない	2283	9.9%	-
11	わからない	389	1.7%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問4 これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、どうなると思いますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	使ったり、持っていたりしたら罰せられるものもある	21467	93.5%	94.4%
2	1回使うくらいなら、罰せられることはない	38	0.2%	0.2%
3	持っているだけでは罰せられることはない	148	0.6%	0.7%
4	使ったり、持っていたりしても罰せられることはない	177	0.8%	0.8%
5	わからない	910	4.0%	4.0%
	不明	228	1.0%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22740

共通質問5 これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。(どちらかに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった	21930	95.5%	96.3%
2	なかった	844	3.7%	3.7%
	不明	194	0.8%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22774

共通質問6 これらの薬物を使った場合、次のようになることがあるのを知っていましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	21139	92.0%	-
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	19419	84.5%	-
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	18657	81.2%	-
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	12522	54.5%	-
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	20200	87.9%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問7 これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	小学校の授業	11923	51.9%	-
2	中学校の授業	18755	81.7%	-
3	高校の授業	19913	86.7%	-
4	大学が配付しているリーフレット等	482	2.1%	-
5	大学での啓発ビデオ	164	0.7%	-
6	大学での講演会	228	1.0%	-
7	友達、仲間、先輩、後輩	879	3.8%	-
8	家族	1259	5.5%	-
9	ポスター、パンフレット	3649	15.9%	-
10	本、雑誌	1458	6.3%	-
11	新聞	2163	9.4%	-
12	テレビ	10203	44.4%	-
13	ラジオ	200	0.9%	-
14	インターネット	4833	21.0%	-
15	携帯電話	1121	4.9%	-
16	その他	113	0.5%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問8 これらの薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	知りたい	4111	17.9%	18.1%
2	知りたいとは思わない	6965	30.3%	30.7%
3	どちらでもない	11647	50.7%	51.3%
	不明	245	1.1%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22723

共通質問9 これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	10308	44.9%	-
2	家庭	2031	8.8%	-
3	地域活動、自治体等の広報誌	2086	9.1%	-
4	図書館、公民館	1474	6.4%	-
5	保健所	1301	5.7%	-
6	警察	3943	17.2%	-
7	病院	2767	12.0%	-
8	インターネット	3978	17.3%	-
9	講演会、座談会	4351	18.9%	-
10	その他	241	1.0%	-
11	特になし	3672	16.0%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問10 これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思えますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	薬物が簡単に手に入るようになっている	15778	68.7%	-
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	1611	7.0%	-
3	インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	5057	22.0%	-
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	3003	13.1%	-
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	4630	20.2%	-
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	6864	29.9%	-
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1778	7.7%	-
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	8621	37.5%	-
9	学校や家庭がおもしろくない	3727	16.2%	-
10	わからない	1568	6.8%	-
11	その他	580	2.5%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問11 これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	20439	89.0%	90.4%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	122	0.5%	0.5%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1851	8.1%	8.2%
4	その他	198	0.9%	0.9%
	不明	358	1.6%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22610

共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。

<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>(どちらかに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	ない	21365	93.0%	94.2%
2	ある	1309	5.7%	5.8%
	不明	294	1.3%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22674

共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、
これまでにありましたか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	誘われたり、勧められたことはない	21278	92.6%	94.5%
2	購入を勧められたことがある	103	0.4%	0.5%
3	使用を誘われたことがある	265	1.2%	1.2%
4	わからない	861	3.7%	3.8%
	不明	461	2.0%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22507

共通質問14 これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	21237	92.5%	-
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	692	3.0%	-
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	84	0.4%	-
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	102	0.4%	-
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	246	1.1%	-
6	わからない	723	3.1%	-
7	その他	140	0.6%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問15(ア) 周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	いない	19483	84.8%	86.5%
2	いる(いた)	856	3.7%	3.8%
3	わからない	2181	9.5%	9.7%
	不明	448	2.0%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22520

【質問15(ア)で「2」に○をつけた人だけお答えください】

共通質問15(イ) どの薬物でしたか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	91	10.6%	-
2	覚せい剤(スピード、エスなど)	76	8.9%	-
3	大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	434	50.7%	-
4	コカイン	42	4.9%	-
5	あへん類(ヘロインなど)	12	1.4%	-
6	LSD	26	3.0%	-
7	MDMA(エクスタシーなど)	31	3.6%	-
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	54	6.3%	-
9	わからない	246	28.7%	-
	N(%ベース)	856	100.0%	

共通質問16 もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	使用をやめるよう説得する	10704	46.6%	50.5%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	2633	11.5%	12.4%
3	警察に通報する	2384	10.4%	11.2%
4	医療機関や保健所等に連絡する	729	3.2%	3.4%
5	個人の自由であるので放っておく	2054	8.9%	9.7%
6	わからない	2498	10.9%	11.8%
7	その他	199	0.9%	0.9%
	不明	1767	7.7%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	21201

共通質問17 これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	警察の相談窓口	6025	26.2%	-
2	行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	2667	11.6%	-
3	医療機関の相談窓口	3869	16.8%	-
4	民間の支援団体の相談窓口	2168	9.4%	-
5	知らない	13442	58.5%	-
6	その他	32	0.1%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問18 まわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	薬物乱用による健康被害情報	11157	48.6%	-
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	8738	38.0%	-
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	3098	13.5%	-
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	2726	11.9%	-
5	特になし	5387	23.5%	-
6	その他	90	0.4%	-
	N(%ベース)	22968	100.0%	

共通質問19(ア) これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	不可能だ	4947	21.5%	22.2%
2	かなり難しい	4946	21.5%	22.2%
3	難しいが手に入る	8417	36.6%	37.8%
4	手に入る	3944	17.2%	17.7%
	不明	714	3.1%	3.2%
	N(%ベース)	22968	100.0%	22254

【質問19(ア)で「3」「4」に○をつけた人だけお答えください】

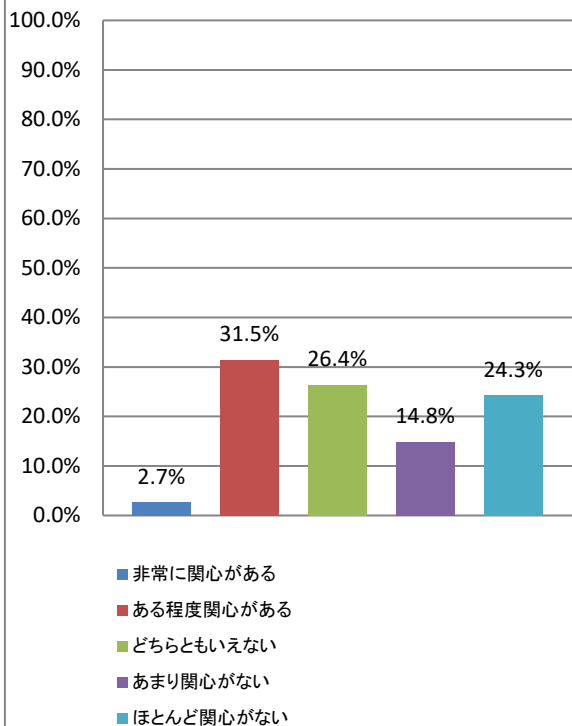
共通質問19(イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。(複数回答可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	インターネットなどで探せば見つけることができると思うから	10497	84.9%	-
2	インターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	585	4.7%	-
3	それ以外	1510	12.2%	-
	N(%ベース)	12361	100.0%	

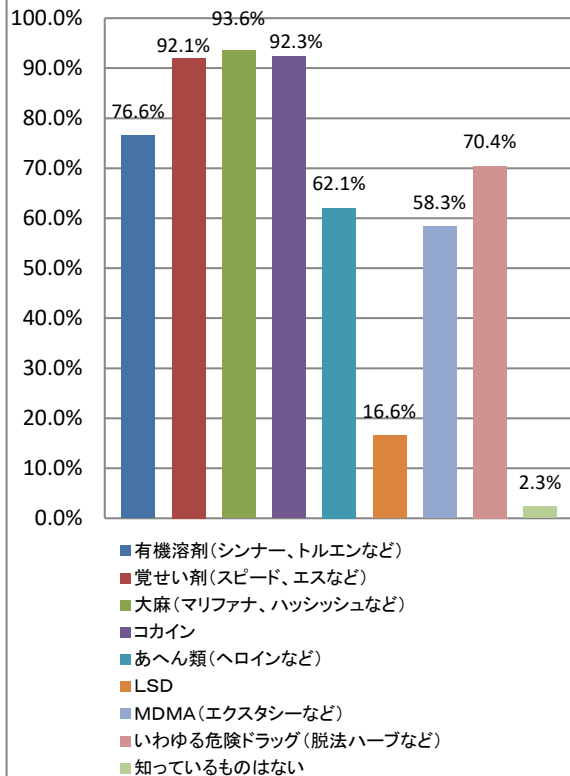
共通質問20 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つに○)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	知っている	15128	65.9%	68.3%
2	知らなかった	7019	30.6%	31.7%
	不明	821	3.6%	
	N(%ベース)	22968	100.0%	22147

共通質問1 薬物乱用問題について関心がありますか。(1つに○)N=22968

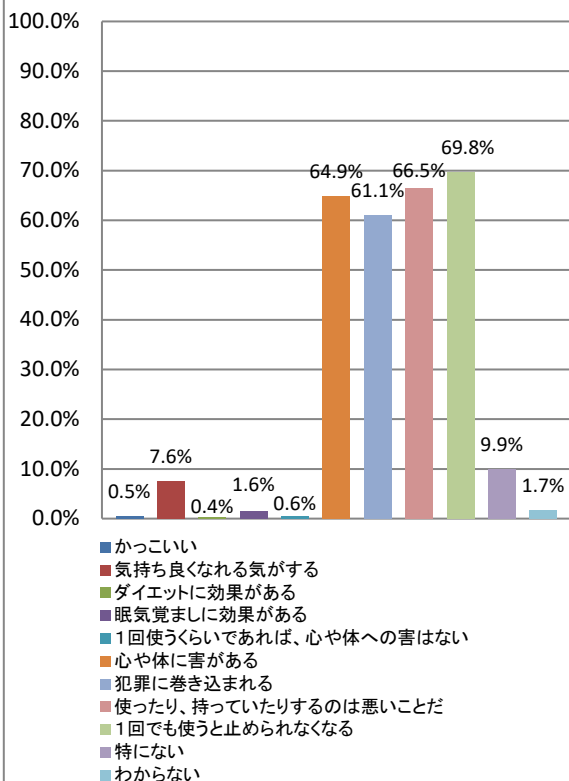


共通質問2 次の薬物の名前を知っていますか。(複数回答可)N=22968

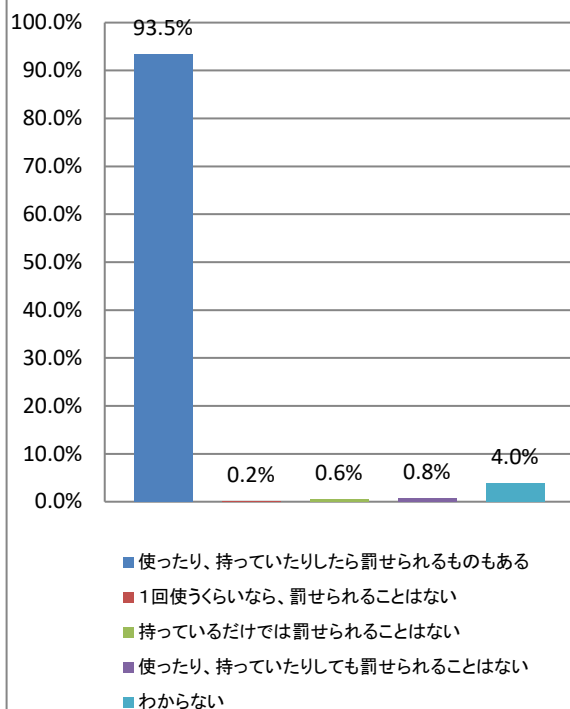


【次の質問以降は、質問2であげた薬物についてお聞きします。】

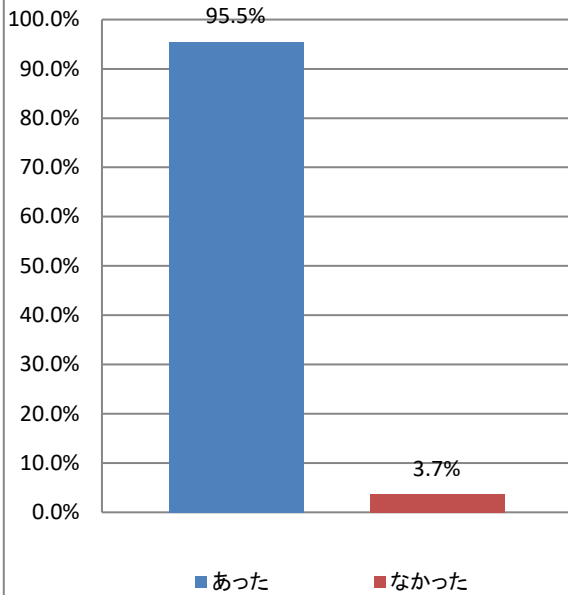
共通質問3 これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数回答可)N=22968



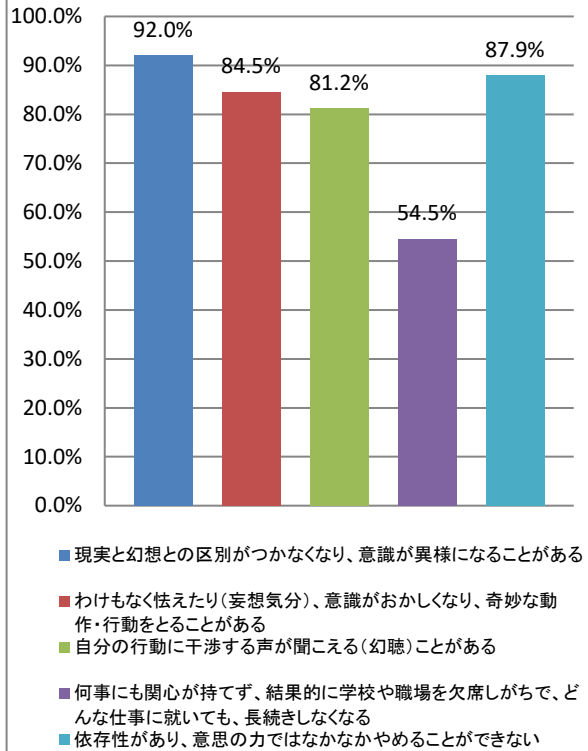
共通質問4 これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、どうなと思いますか。(1つに○)N=22968



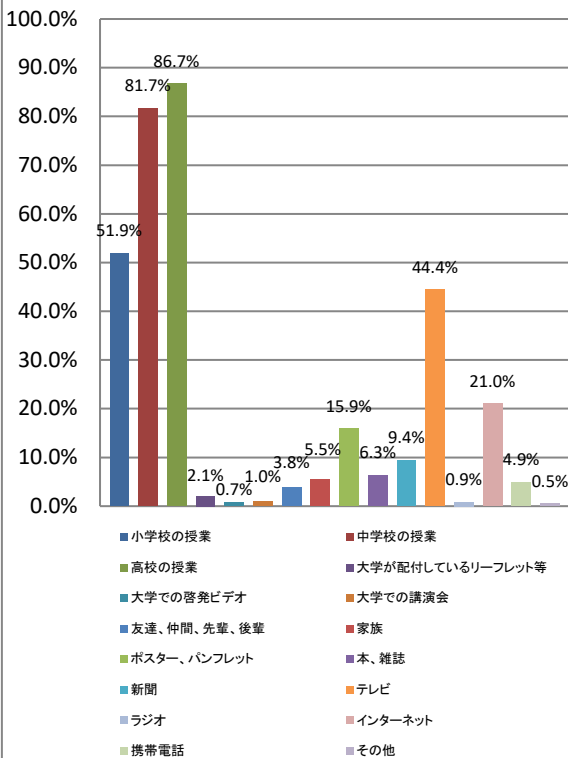
共通質問5 これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかに○) N=22968



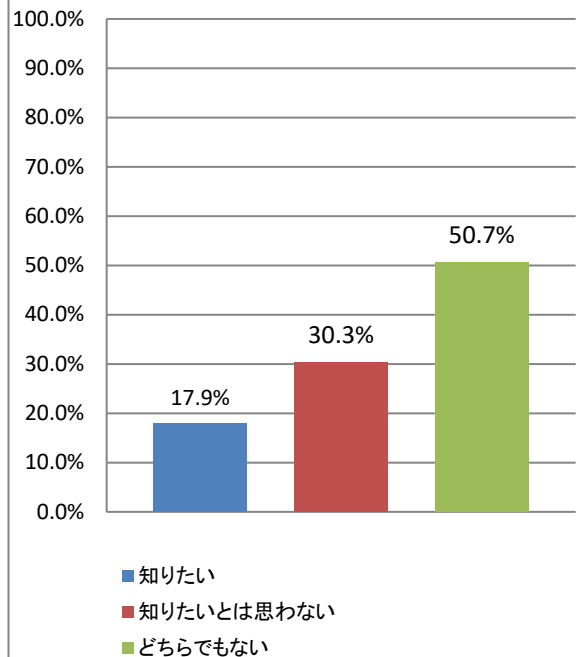
共通質問6 これらの薬物を使った場合、次のようになることがあるのを知っていましたか。(複数回答可) N=22968



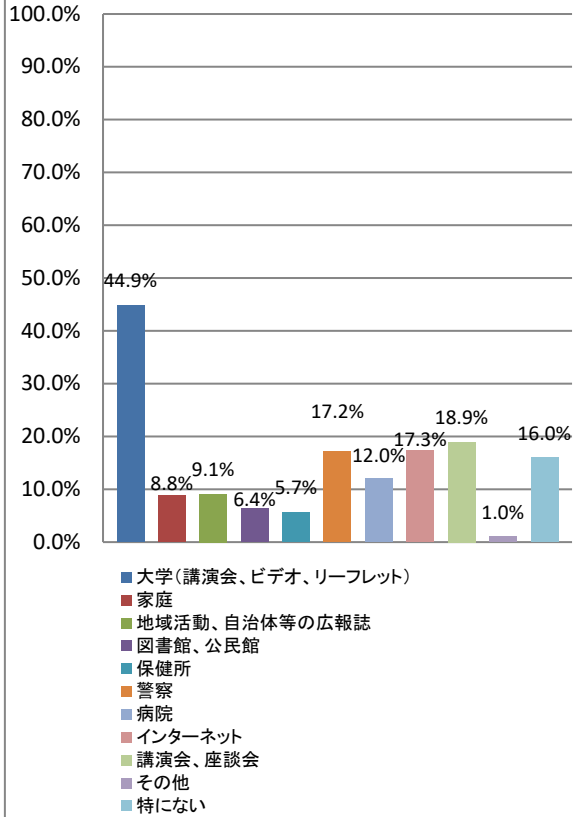
共通質問7 これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数回答可) N=22968



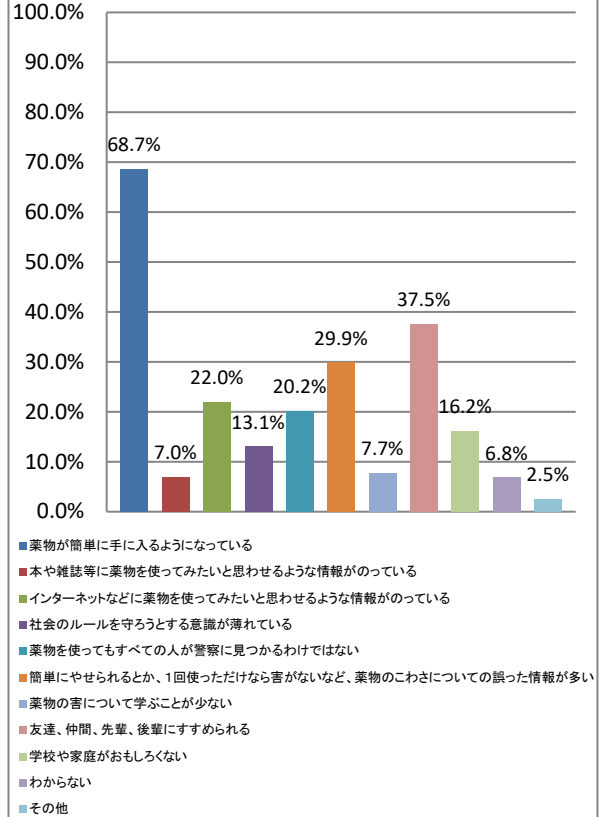
共通質問8 これらの薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○) N=22968



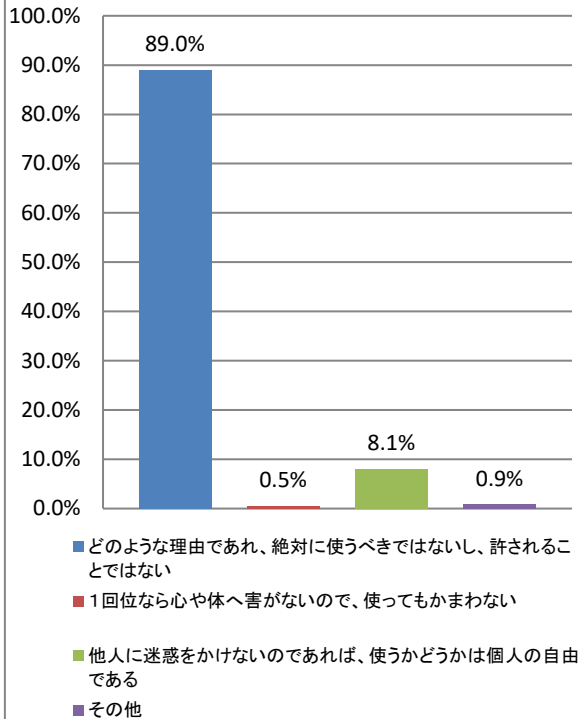
共通質問9 これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数回答可) N=22968



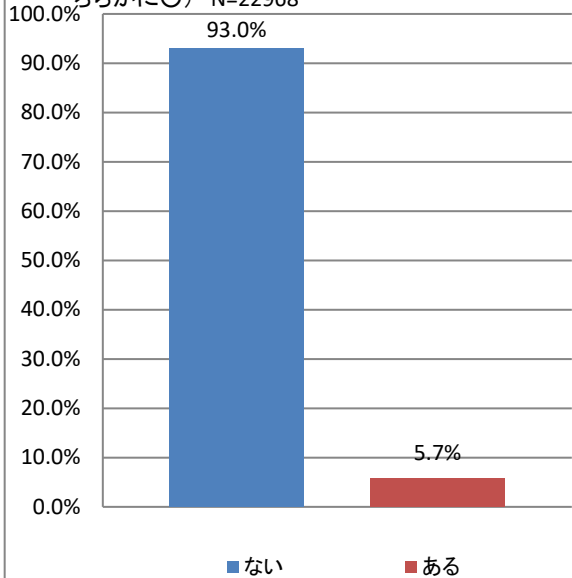
共通質問10 これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数回答可) N=22968



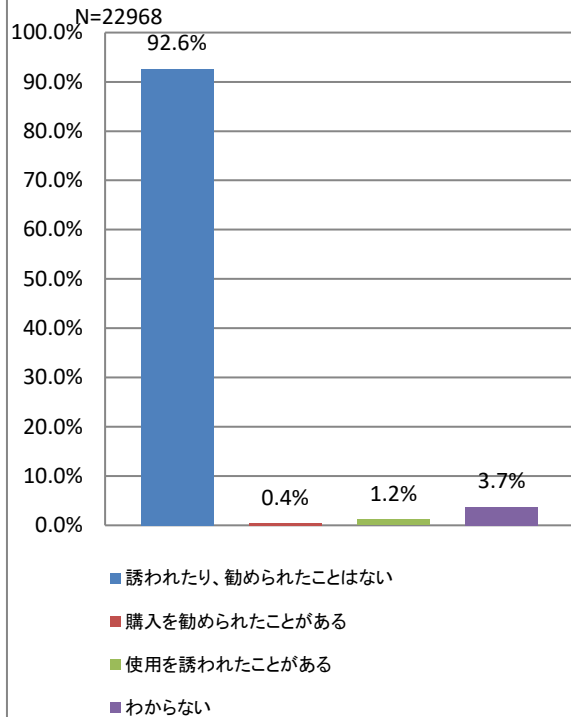
共通質問11 これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つに○) N=22968



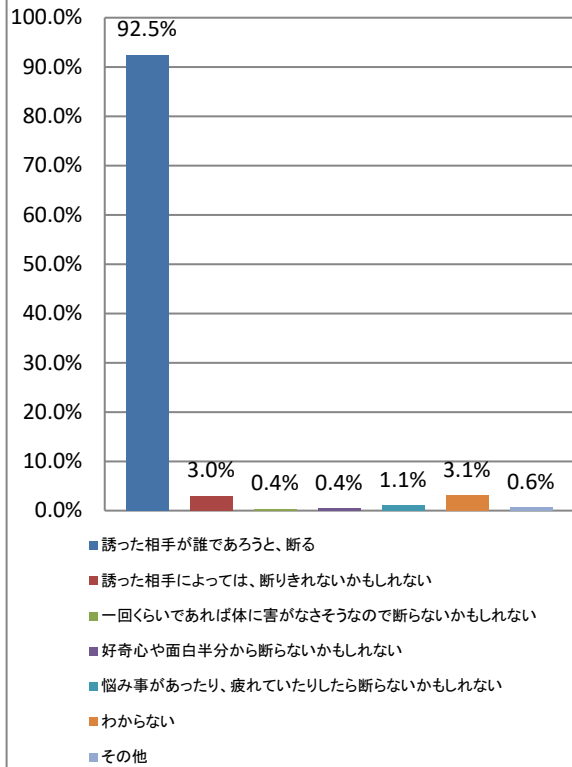
共通質問12 これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>(どちらかに○) N=22968



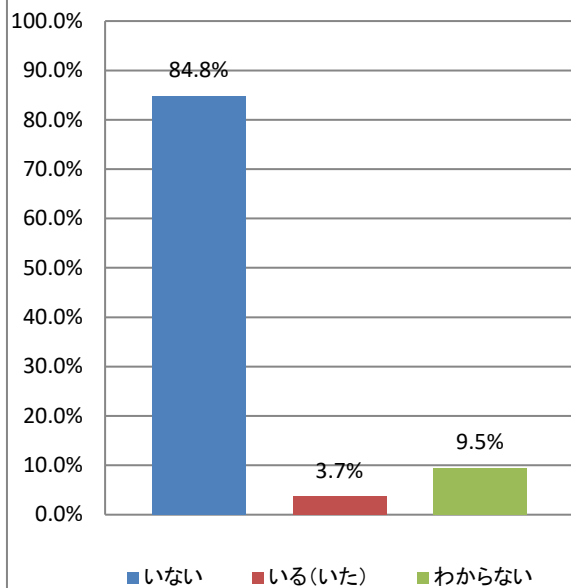
共通質問13 これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つに○)



共通質問14 これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数回答可) N=22968

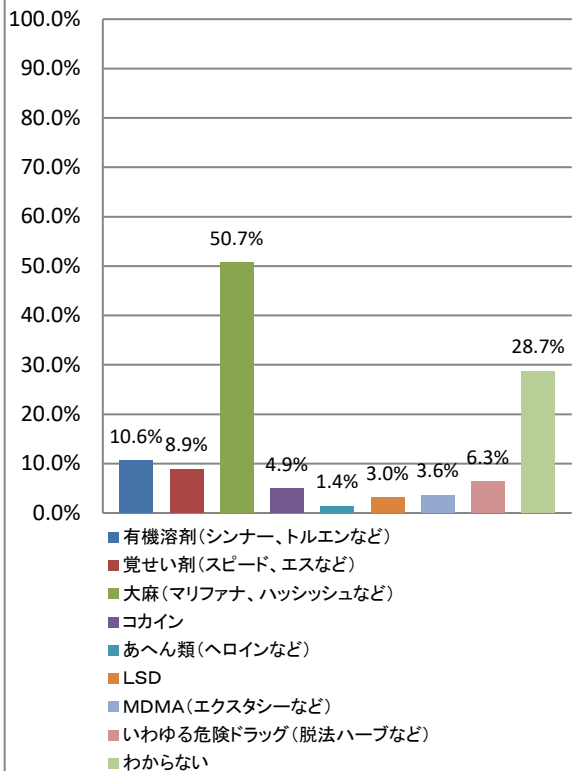


共通質問15(ア) 周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つに○) N=22968

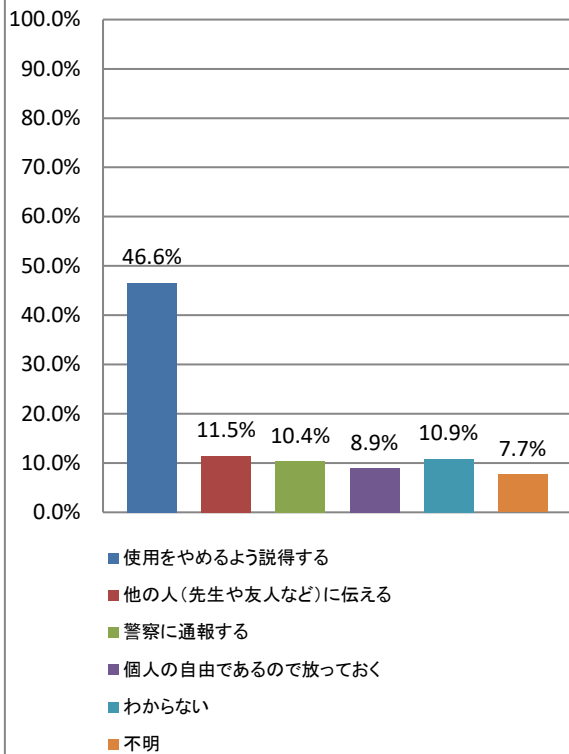


【質問15(ア)で「2」に○をつけた人だけお答えください】

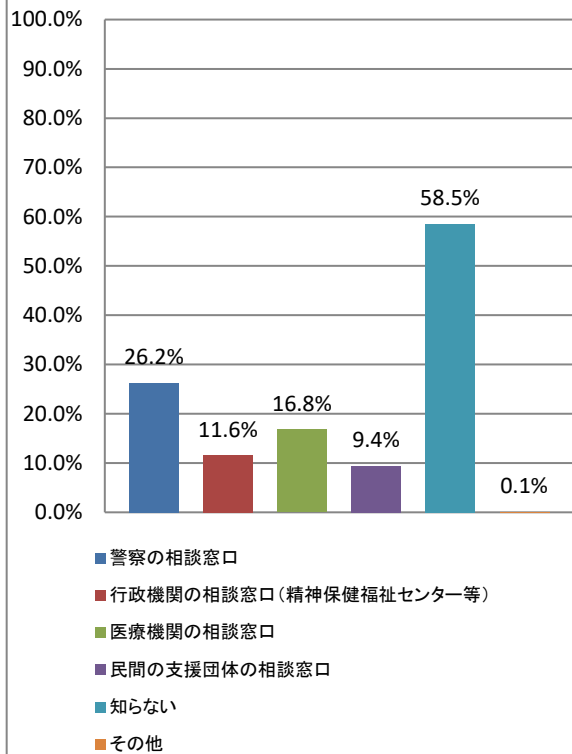
共通質問15(イ) どの薬物でしたか。(複数回答可) N=856



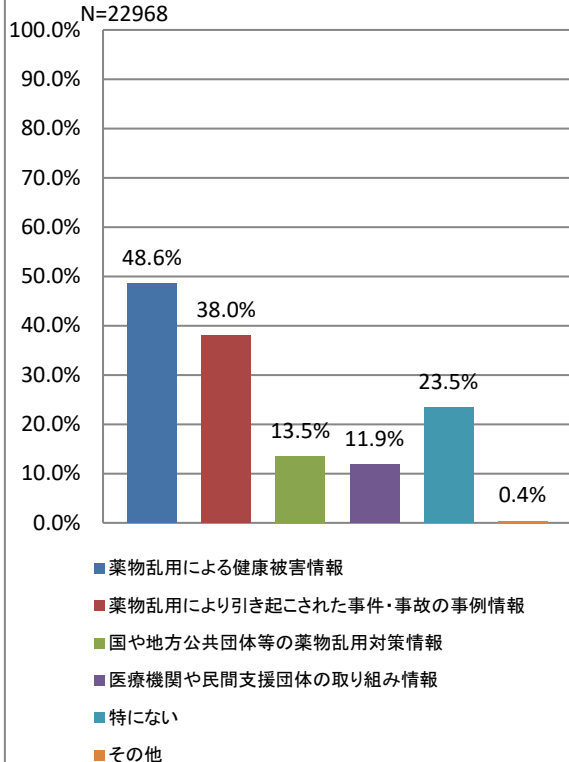
共通質問16 もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。
(複数回答可) N=22968



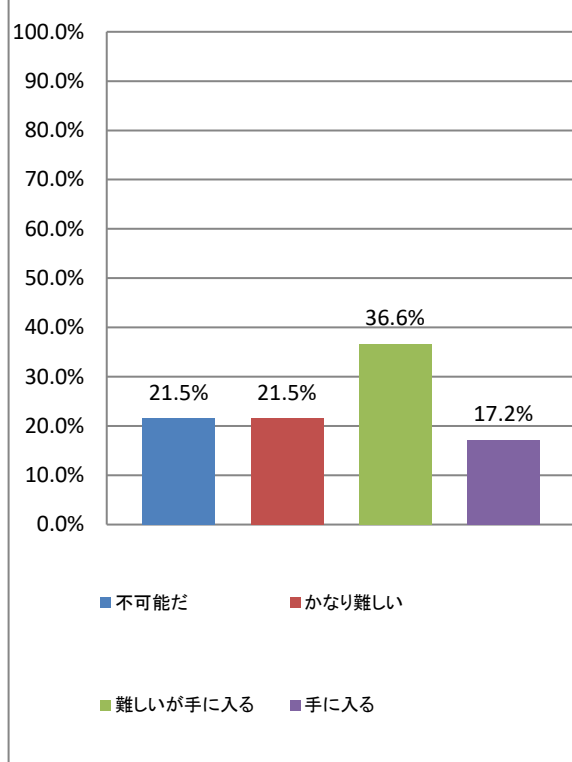
共通質問17 これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数回答可) N=22968



共通質問18 まわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。(複数回答可) N=22968



共通質問19(ア) これらの薬物を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいと考えていますか。(1つに○) N=22968



【質問19(ア)で「3」「4」に○をつけた人だけお答えください】

